

2023(令和5)年度埼玉県・オハイオ州スカラシップ

〈語学・大学留学コース〉12月レポート

“私の冬休み”

2023(令和5)年度奨学生 河原塚 咲

みなさま、こんにちは。

12月は期末テストとともに幕を開け、半期で帰国する日本人留学生との別れの時期でもありました。それらを乗り越えた先に待っていたのは、約1ヶ月ある冬休みです。秋休みもキャンパスに滞在していた私にとって、フィンドレーを出たこの冬休みは、本当に刺激的でかけがえのない経験になりました。今回は、そんな私の冬休みについてのレポートとなります。最後までお読みいただければ嬉しいです。

CONTENTS

1. ハワイでフルマラソン、戦争のはじまりと終わりの場所へ
2. リッチモンドでのホームステイ

1. ハワイでフルマラソン、戦争のはじまりと終わりの場所へ 【12月8日～16日】

まず、フィンドレーから向かったのはハワイ・オアフ島です。目的はフルマラソンに出場すること、そして友人に会うことです。もともと長距離を走ることが好きで、フルマラソンは日本にいた時からずっと挑戦してみたいと思っていました。ホノルルマラソンは他の多くのマラソンと違い時間制限がなく、毎年たくさんの日本人が参加しているということを知り、やってみることにしました。また、日本で出会った友人がハワイ在住であることも決め手になりました。

前日はゼッケンを取りに行き、友人がゴールラインまで一緒に歩いてくれました。期末試験の間をぬって、様々な場所へ連れて行ってくれた友人には感謝してもしきれません。いよいよレース当日。ハワイの気候を考えてのことなのか、スタートは朝5時です。7時すぎには朝日が昇り始め、沿道で応援してくれる人たちの顔がはっきりと見えるようになってきました。驚いたのはその多さで、ボランティアの方々をはじめとした声援が背中



ハイウェイからの日の出

を押してくれました。特に元気をもらったのは、給水所で “Saki, Go!” と名前を呼ばれたときです。友人曰く、去年からゼッケンの番号の下に名前が書かれるようになったそうです。[11月レポート](#)で名前を呼ばれることについて少し書きましたが、改めて名前を呼ばれることのパワーを感じました。途中で両脚がつり辛かったのですが、先にゴールした友人がゴールライン近くで待っているのが見えた時、そして完走メダルを首にかけられた時、喜



びがこみ上げたことを覚えています。

友人(写真右)とレース後に撮った1枚
背景はダイヤモンド・ヘッド
応援してくれたすべての人に感謝です

レースから数日後、バスで USS アリゾナ記念館と戦艦ミズーリ記念館へ足を延ばしました。戦艦アリゾナは、真珠湾攻撃によって沈んだ戦艦です。この場所から戦争は始まりました。80 年以上経った今も、戦艦の一部から重油が流れています。

また、戦艦ミズーリ記念館へ行くには別途チケット購入が必要ですが、十分に行く価値のある場所だと思います。ミズーリは、日本が敗戦した際の調印式が行われた場所です。退役後は船内が記念館として一般公開されており、いくつかの言語でツアーガイドが受けられます。特に印象に残った話である、神風特攻隊による攻撃について紹介します。ミズーリが唯一受けた攻撃は、神風特攻隊による特攻です。攻撃を受けその遺体が見つかった時、ウィリアム・キャラハン艦長は船員らの反対があったにもかかわらず、米海軍の正式な手順に則った水葬を行うようにと指示を



別名「アリゾナの涙」
写真右に重油が見えます

出しました。彼の主張は、祖国のために戦った若き日本のパイロットと自分たちの間に敵も味方もない、というものだったそうです。私が心動かされたのは、彼が日本との戦争で兄弟をなくしているにもかかわらず、敵国の兵士の意志を思いやる決断をしたことです。船員の手で旭日旗が作られ、翌朝手作りの旗に包まれた遺体は海へ放されました。船上では、損傷部分がそのまま保存しており、直接見る事ができました。私たちはこれまでの歴史から目をそらさずに、学び、考え続ける必要があると再確認した時間でした。



ミズーリの船上で行われた水葬の様子



神風特攻隊に関する展示
多くの人が足を止めていました

2. リッチモンドでのホームステイ【12月17日～29日】

ハワイを訪れた後、母親の知り合いに紹介してもらい、オハイオ州の東にあるヴァージニア州リッチモンドでホームステイをしました。後に知ったことですが、リッチモンドはさいたま市の姉妹友好都市です。滞在したお宅の近くにはいくつかの美術館や博物館があり、退屈することがありませんでした。



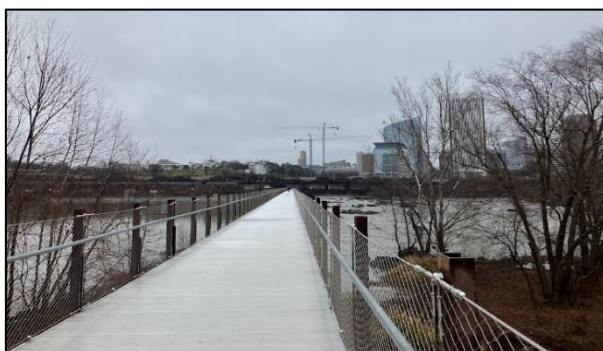
今まで食べたどの中華料理よりも
おいしかったです

24日のクリスマスイブには多くのお店が閉まっていたので、ホストマザーを含め彼女の友人らと中華料理を食べました。25日のクリスマスには、近所の映画館で *It's a Wonderful Life* という1946年公開の映画を観ました。映画の前には観客みんなでクリスマスソングを歌うという一幕や、天井から雪(?)が降ってくるというサプライズもあり、日本とは違ったクリスマスを経験することができました。

また、ホストマザーの友人が車で様々な場所を案内してくれました。特に印象的だったのが、一緒に散歩した James River と Maymont です。彼女は nanny として日常的に小さな子どもと関わっているからなのか、歩きながら聞く説明がとても分かりやすく感心しました。Maymont は広大な公園で、日本庭園もあります。リッチモンドはフィンドレーと比べ寒すぎることはなく、歴史的な街並みや豊かな自然と、都会的な雰囲気両方が味わえる場所だと感じました。先述の通り姉妹友好都市という身近な存在なので、ぜひ行ってみてください。



ホームステイ先の近所にあった
映画館



一緒に散歩した James River



Maymont にある Japanese Garden

フィンドレーには12月29日に着きました。New Years Eveは他の留学生と料理をつくり、NYの年越しをテレビで観ました。およそ1ヶ月あった冬休みもあと数日で終わろうとしています。次回の報告書では、春学期の授業について紹介する予定です。気持ち新たに、残りの生活も楽しみながら過ごしていきます。

*本プログラムや生活について、聞いてみたいことがありましたら

kawaharazukas@findlay.edu にお気軽にご連絡ください。私の経験が、みなさまの一助になればと思います。報告書の感想もお待ちしています！